

既存化学物質の生態影響に関する情報

(平成17年9月30日3省合同審議会)

| 官報公示 整理番号 | 物質名 | 頁 |
|--------------|---|----|
| 5-1051 | 1, 3, 5 - トリス(2 - ヒドロキシエチル) - 1, 3, 5 - トリアジン - 2, 4, 6 - (1H, 3H, 5H) - トリオン | 1 |
| 5-1028 | 2, 4 - ジアミノ - 6 - フェニル - s - トリアジン | 13 |
| 3-206 | 4 - (1 - メチルエチル)アニリン | 22 |
| 4-15 | 4 - エチル - 1, 1 - ビフェニル | 31 |
| 2-243 | 1, 1, 1 - トリス(ヒドロキシメチル)エタン | 43 |
| 3-1307 | ジトリデシルフタラート | 55 |
| 3-2011 | 2 - メチル - 5 - ニトロベンゼンスルホン酸 | 67 |
| 3-204 | 0 - アセトアセトトレイジド | 79 |
| 2-22 | 4 - メチル - 1 - ペンテン | 88 |

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

9 B 4 4 8 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオン
- 2) 暴露方式: 止水式, 振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度 (設定値):
対照区, 1000 mg/L (限度試験)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連数: 3 容器 / 濃度区
- 8) 初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度: 23 ± 2 °C
- 10) 照明: 4000 lux (±20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分析法: CE法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が開始時において設定値の±20%を超えなかったため、下記の生長障害濃度の算出には設定値を採用した。

2) 生長曲線下面積の比較による障害濃度

50%生長障害濃度 EbC50 (0-72) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 NOECb (0-72) : >1000 mg/L

3) 生長速度の比較による障害濃度

50%生長障害濃度 ErC50 (24-48) : >1000 mg/L

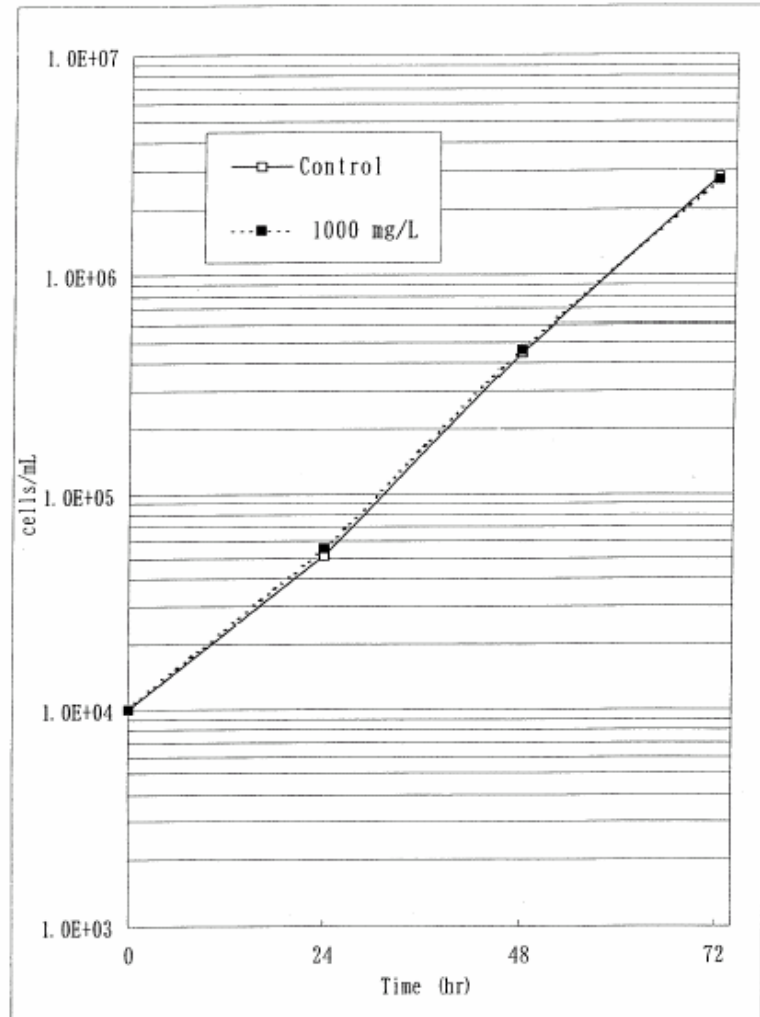
最大無作用濃度 NOECr (24-48) : >1000 mg/L

50%生長障害濃度 ErC50 (24-72) : >1000 mg/L

最大無作用濃度 NOECr (24-72) : >1000 mg/L

1,3,5-トリス(2'-ヒドロキシエチル)イソシアヌール酸 (Cas. 839-90-7)

生長曲線



Values in legend are given in the nominal concentration.

図 藻類生長曲線

毒性値

・0-72hErC₅₀: > 1000 mg/L

・0-72hNOECr: 1000 mg/L

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

9 B 4 7 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1, 3, 5-トリス (2-ヒドロキシエチル)-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6 (1H, 3H, 5H)-トリオン
- 2) 暴露方式： 止水式, 水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 1000 mg/L (限度試験)
- 6) 試験液量： 100 mL/容器
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭/濃度区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： C E 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%以内であったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : > 1000 mg/L (95%信頼限界 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOECi) : > 1000 mg/L
100%阻害最低濃度 : > 1000 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : > 1000 mg/L (95%信頼限界 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOECi) : > 1000 mg/L
100%阻害最低濃度 : > 1000 mg/L

Figure 1 Concentration-Response (Immobility) Curve

